

大高緑地の自然・一月(睦月)

明けまして、おめでとうございます。平成二十六年も大高緑地のご利用をよろしく申し上げます。

今年の暮れ、十二月二十八日は大高緑地にも雪が降り寒い一日となりましたが、正月はそれほど寒くなく初詣に行かれた方も多いのではないのでしょうか。

●今月は、二十四節季の小寒(二月五日)・大寒(二月二十日)があり寒い季節になります。

●その他に七草(一月七日)、一一〇番の日(一月十日)、鏡開き(二月十一日)、成人の日(二月十三日)、小正月・小豆がゆ(二月十五日)、「防災とボランティアの日」平成七年に阪神淡路大震災がありました(二月十七日)、奈良若草山山焼き(一月二十五日)、旧元旦(二月三十一日)があります。参考に！

■春の七草を紹介します。

七種とも書き、せり、なずな(ペンペン草)、ごぎょう(ハコクサ)、はこべら(ハコベ)、ほとけのざ(コオニタビラコ)、すずな(カブ)、すずしろ(ダイコン)のことです。

この七種の野菜を刻んで入れたかゆを七草がゆといい、邪気を払い万病を除く占いとして食べる。呪術的な意味ばかりでなく、御節料理で疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという効能もあります。

緑地内をを散策してしましたら、この時期ならではの色々な植物、昆虫に出遭うことができました。



1



2



3



4



5



6

- ①サルトリイバラの実(ツツジ道)
- ②自然薯の花柄と蔓【緑地にも沢山ありますが掘らないでください】(ツツジ道)

- ③サルスベリフクロカイガラムシ(ツツジ道・アカメガシワの枝に付着)
- ④ビワの花(砦前・恐竜広場付近)
- ⑤茶の花(第六駐車場北の山側)
- ⑥唐ネズミモチの実(第八駐車場から野球場入口付近)